

【教育目標】 **総合目標** 知性を磨き、心を見つめ、チャレンジする生徒



イラハッピー

- ◎自主性、創造性のある生徒(知育)
- ◎情操豊かな生徒(徳育)
- ◎健康でたくましい生徒(体育)

【第38回卒業式】～ひまわりの様に常に明るい方へ、暖かい方へ！～

3月9日(土)に本校体育館において第38回卒業式が挙行されました。4月の豊崎中への分離を控え、三百名規模の卒業式は今回が最後になります。今年度は1・2年生も教室でリモート参加し、卒業生を祝福しました。紙幅の都合上、式辞(一部)、送辞及び答辞とスナップを紹介します。

【式辞(一部抜粋)】校長 伊井秀治

(前略)未来を生きる卒業生の皆さんにひまわりの花言葉「あなたは素晴らしい」を贈ります。思春期真っ只中の皆さんは、自分の長所や優れている面よりも、失敗や短所、コンプレックスなどに目を向けがちです。でも、皆さん一人一人は、自分や周りの人を幸せにする「いいね」を必ず持っています。3年後、5年後、そして10年先の自分がどうなっているか、どうなりたいか、すぐには答えが見つからなくても、灼熱の太陽の下、天を仰ぎ大輪の花を咲かせるひまわりのように、自分に向き合い、ポジティブでエネルギーにあふれる人生を歩んで欲しいと思います。(後略)

【送辞】在校生代表 仲宗根れいら

冬の寒さも和らぎ、日増しに暖かさを増していく日差しの中に、春の気配を感じられる季節となりました。本日、晴れてこの伊良波中学校を卒業される3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。

2年前、私たちはこの伊良波中学校に入学し、初めて先輩方と出会いました。何もかもが新しい環境に、私たちは不安と緊張で胸がいっぱいでした。そんな中、先輩方の優しさや温かさに触れ、私たちの不安も次第に楽しみに変わっていききました。そんな先輩方は、いつでも私たちの見本となってくださいました。

校内陸上では、一生懸命、正々堂々と走り、戦い、応援し合う先輩方を見て、私たちもこうなりたいと憧れを抱きました。また、勝ち負け関係無しに最後まで走り抜く姿からは、諦めないことや、やり遂げることの大切さを学ぶことができました。

合唱コンクールでは、一人一人が積極的に練習に参加する先輩方をお手本にし、私たちも頑張ろうと練習に励むことができました。本番では、歌声に先輩方の絆の強さが表現されていて、力強い素敵な歌声に感動しました。希望、期待、勇気。様々な思いが込められた先輩方の歌は、今でも私たちの心に響いています。また、伊良波フェスタでは、先輩方の良さを活かした出し物により、全員で楽しく盛り上がる事ができました。

部活動では、基礎的な動きはもちろん、普段の生活にも必要な礼儀やマナー、思いやることの大切さも指導していただきました。厳しいと感じる事もありましたが、先輩方と共に達成感や楽しさを分かち合い、部活動を続けることが出来ました。先輩方の、時には厳しく、時には優しい熱心な指導のおかげで、私たちは成長することができました。私たちも先輩方のような素敵で頼れる先輩になれるよう、一生懸命頑張ります。

生徒会活動では、学校のために積極的に物事を考え、行動する姿に、先輩方の伊良波中学校を愛する気持ちを感じることができました。困っているときに優しく声をかけてアドバイスをくださったことを、今でもはっきりと覚えています。これから、私たちもたくさん悩むことが出てくると思います。そんな時は、先輩方ならどうするかをよく考え、乗り越えて行きたいと思えます。先輩方が築き上げてきたこの伊良波中学校を今以上によりよいものにしていきます。

これから先輩方が進む道には、たくさんの方が立ちあはだかると思えます。それでも、この伊良波中学校で過ごした日々を思い出し、学んだ事を活かして、夢に向かって進んで行ってください。私たちをここまでリードして下さいました先輩方を私たちは応援しています。先輩方が教えてくださったことを、私たちはわすれません。先輩方も、この伊良波中学校で過ごしたこと、私たちをここまで成長させてくださったことを忘れないでください。

最後になりますが、先輩方と出会い、共に学校生活を送れたことを嬉しく思います。私たちに優しくしてくださり、楽しい思い出を作ってください、本当にありがとうございました。くれぐれもお体は大切になさってください。本日は、ご卒業おめでとうございます。



【答辞】第38期卒業生代表 藤原理瑚

清々しい風や晴れ渡る空が広がる中、私達38期生は、この伊良波中学校を卒業します。本日は、私達のためにこのような温かい卒業式を開いていただきありがとうございます。

新しい仲間と出会い、一人一人が自分らしく無我夢中で走り抜けた中学校生活の幕が閉じられようとしている今、皆さんは何を感じ、何を思い出しているのでしょうか？

何もかもが初めてでドキドキだった1年生。度重なる休校でリモート授業になり、落ち着かない学校生活でした。先生や友達と会えない寂しさもありましたが、そのような状況の中で開催された校内陸上や学年レクで絆を深め合い、学校生活も活気に溢れていたのを覚えています。

学年が上がり、先輩としての自覚が芽生えた2年生。修学旅行では、奈良公園で鹿と触れ合ったり、初めて見る雪にはしゃいだり、USJでジェットコースターに乗って叫んだり・・・それぞれが友達と一緒に最高の3日間を過ごしました。

一つ一つの時間を大切に過ごした3年生。最高学年となり、進路選択も迫ってきて、様々なプレッシャーを感じるようになりました。思い通りにいかない焦りや不安に駆られることもありました。楽しむ姿勢を決して忘れず、何事にも全力で取り組みました。最後の伊良波フェスタで大合唱した「島んちゆぬ宝」。私は、心の底から仲間の存在を実感しました。

この3年間、私達が色々なことに取り組むことができたのは、先生方や保護者の皆様の支えがあったからです。先生方は、私達が進路や人間関係で悩んでいるとき、親身になって相談に乗ってくださいました。私は、先生方の温かい言葉に何度も救われました。また、時には厳しく叱り、私達を正しい道へ導いてくださいました。決して私達を一人にせず、陰で見守ってくださいました先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

そして、保護者の皆様。今日が義務教育最後の日です。特にこの3年間はたくさん迷惑をかけてしまいました。それでも、私達のことを近くで見守り、時には助けてくださり本当にありがとうございました。どんなときでも私達のことを第一に考え、ここまで育ててくれ本当にありがとうございます。これからも、たくさん迷惑をかけるかもしれませんが、たくましく成長していく私達の姿を一番近くで見守っていて欲しいです。

在校生の皆さん、私達を慕い、頼ってくれてありがとうございました。これからの伊良波中学校を担っていくのは皆さんです。伊良波中学校の素晴らしい伝統を受け継ぎ、更に良い伊良波中学校を築いてください。

出会ってから3年。そばにいたことが当たり前だと思っていた友達。私達はこんなにも大切な宝物をいつの間にか見つけていました。一緒に泣いたり笑ったりするのも今日が最後だと思うと、とても淋しく思います。今日を境に別々の道を歩き出しますが、伊良波中で過ごした日々を忘れずに、それぞれが自分の輝く未来を切り開いていきましょう。今まで本当にありがとう。

実は、今この場に立っていても、私は卒業を実感できていません。本当はもっと友達や先生方と一緒にいたいです。でも、私達には新しい道が待っています。5年後の成人式で38期生のみんなと会えることを楽しみにしています。

最後に、伊良波中学校の発展と皆様のご健康、ご活躍を祈念し答辞といたします。

